85464359530002

据付工事担当のかたへ

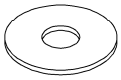
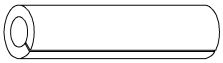
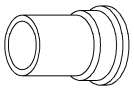
室内マルチ機種

室内外ユニットには、他に「試運転担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」の説明書が添付してあります。必ず参照してください。

天井埋込形（２２４，２８０形）

１．付属品

次の部品が入っています。ご確認ください。

部品名	形　　状	個数	備　　考
ワッシャー		8	室内ユニットを吊り下げるのに使用します。
断熱材		1	配管用断熱材（液管用）
ドレン継手		1	ドレン口に接続します。

●吊ボルトおよびナットは必ず３／８”またはＭ１０を使用してください。（現地手配）

２．据付場所

⚠ 警告

１．室内ユニットの重量に十分耐える強固な構造面に据え付けてください。
　不備があると、室内ユニットが落下してケガをする恐れがあります。
　（別売部品装着時、および、ドレンパンにドレン水が溜まった場合、室内ユニットの総重量が２００ｋｇ程度になることもありますので、十分注意してください。）

２．冷気（暖気）の循環しやすい場所に据え付けて下さい。吹出口および吸込口の周囲の通路には障害物がないようにしてください。

３．ドレン水の処理しやすいところに据え付けてください。
　不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。
　●ドレン配管は屋内を通る部分をできるだけ短くしてください。
　●屋内を通る部分のドレン配管は必ず断熱してください。
　●ドレン水は隣家などに迷惑のかからないようにしてください。

４．室内ユニットのサービススペースは３ページに従ってください。また、サービス用の点検口を設けてください。

５．騒音が増大しないように構造面に強固に取り付け、特に隣家との境界線では“環境基本法１６条”の規定に基づく騒音環境基準を満たすように設置してください。

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

■ ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

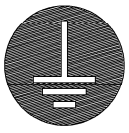
※据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに〝取扱説明書〟にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また〝据付工事担当のかたへ〟、〝電気工事担当のかたへ〟は、〝取扱説明書〟と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠ 警告

- 据付工事は、Ｒ４１０Ａ用に製造された専用のツール・配管を使用し、確実に行ってください。
  使用しているＨＦＣ系新冷媒（Ｒ４１０Ａ）は、従来の冷媒に比べ圧力が約１．６倍高くなります。
  専用の配管部材を使用しなかったり、据え付けに不備があると、破裂・けが・または水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
  ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、〝据付工事担当のかたへ〟〝電気工事担当のかたへ〟に従って確実に行ってください
  据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および〝据付工事担当のかたへ〟〝電気工事担当のかたへ〟に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
  電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 小部屋へ据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
  限界濃度を超えない対策については販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。（ビル用マルチの場合）
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。
  強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
  冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

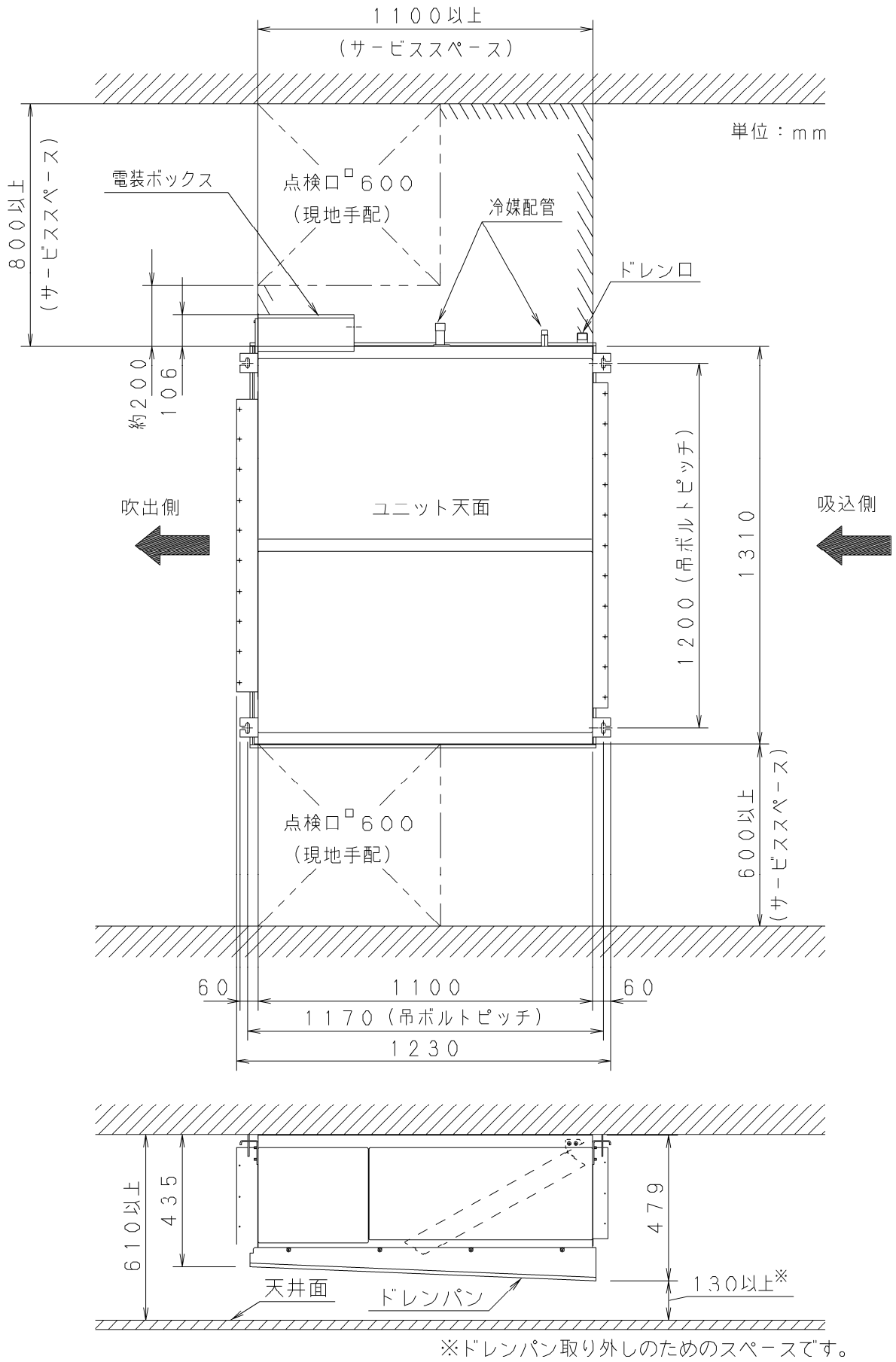
⚠ 注意

- アース工事を行ってください。（電気工事士の資格のある方が行ってください）
  アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線等に接続しないでください。
  アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



- 漏電しゃ断器を取り付けてください。
  漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。
  万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

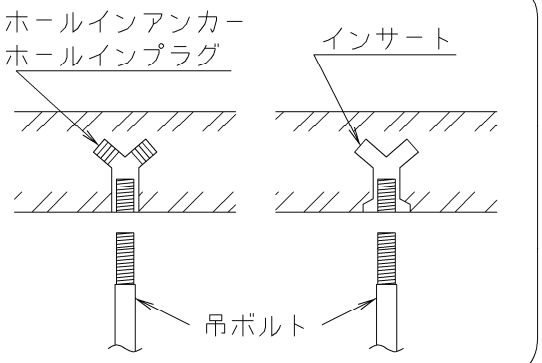
●外形および据付寸法

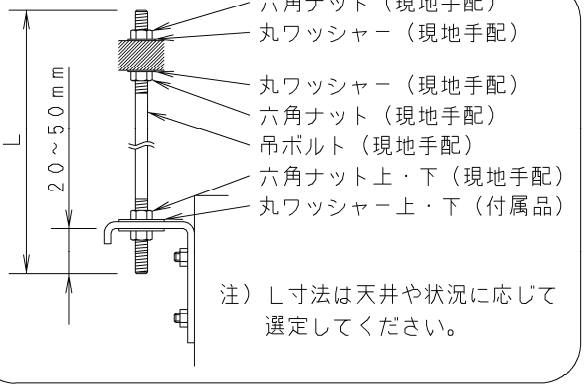


※ドレンパン取り外しのためのスペースです。

3．室内ユニットの吊り下げかた

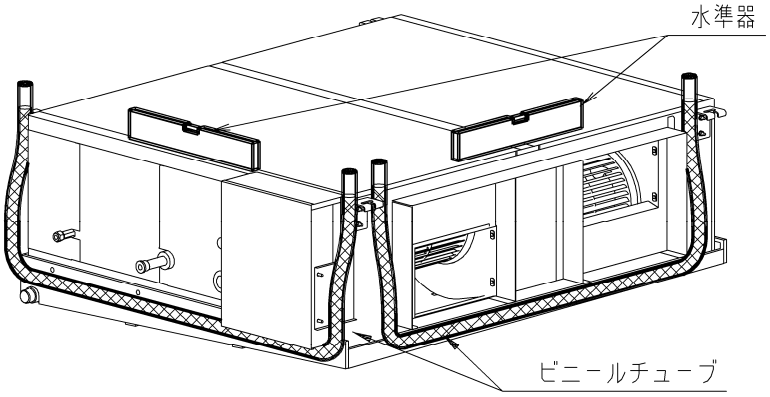
1．吊ボルトの取付ピッチを確認します。
2．吊り下げる箇所を強固な構造にします。
3．吊ボルトの固定は下図取り付け例、あるいは他の方法により、室内ユニットが脱落することのないよう、確実に固定してください。
吊ボルトおよびナット（３／８”またはＭ１０）は現地手配品を使用願います。

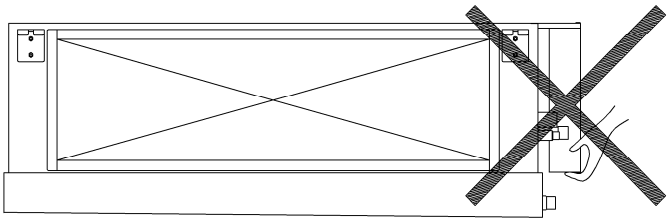




注意

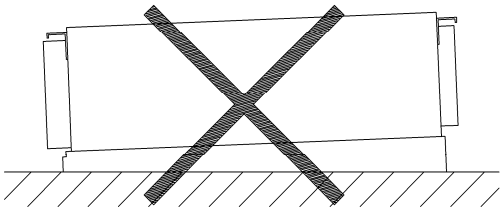
4．室内ユニットを設置する場合、必ず水準器あるいは水を入れたビニールチューブを使用して室内ユニット四隅の水平を確認してください。
吹出口側が下がって設置された場合、水飛びあるいは水漏れの発生する恐れがあります。
また、残留したドレン水により、ドレンパン内部に汚れが堆積する場合があります。
（ドレンパンは傾斜していますので、ユニット天面にて水平を確認してください。）





製品を持ち上げるときは電装ボックスを持たないでください。

ドレンパンを下にしてユニットを長時間放置し、断熱材をつぶさないようにしてください。断熱材がつぶれると露たれの原因になることがあります。



４．冷媒配管および配線のしかた

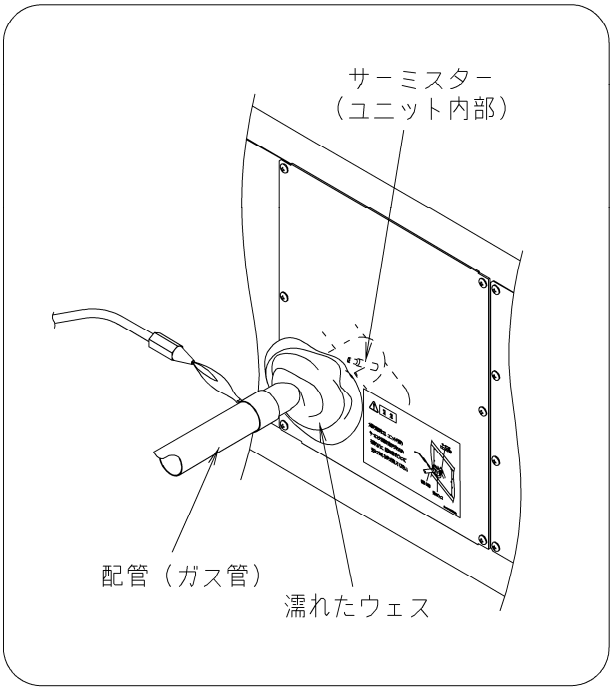
⚠注意

１．冷媒配管のしかた

●冷媒配管サイズは下表のようになっています。

	２２４形	２８０形
ガス管（ｍｍ）	φ19．05（ろう付接続）	φ22．22（ろう付接続）
液　管（ｍｍ）	φ9．52（フレア接続）	φ9．52（フレア接続）

●ガス管の溶接時には、ユニット内部のサーミスターを溶接の熱から守るため、右図のように、配管を濡れたウェスで十分に冷却しながら作業してください。



●ガス管・液管とも、必ず断熱をしてください。また、配管接続部には付属の断熱材を巻き付け、ビニールテープなどで固定してください。断熱しないと水漏れの原因になります。

●ユニット本体の配管貫通部の隙間は断熱材等でふさぎエアーリークのないようにしてください。

●個別運転が可能な同一冷媒系統に、標準室内ユニットと天井埋込形（本機）を組合わせて接続する場合は、ガス管弁キットが２セット必要となります。（ガス管弁キットの接続については、ガス管弁キットに付属の説明書を参照してください。）

２．パッケージエアコンは、“高圧ガス保安法”、“冷凍保安規則”、および高圧ガス保安協会制定の“冷凍空調装置の施設基準”に準じて、設置してください。

３．ユニット間配線のしかた

●ユニット間端子板および電源端子板は電装ボックスのカバーを外すと露出します。

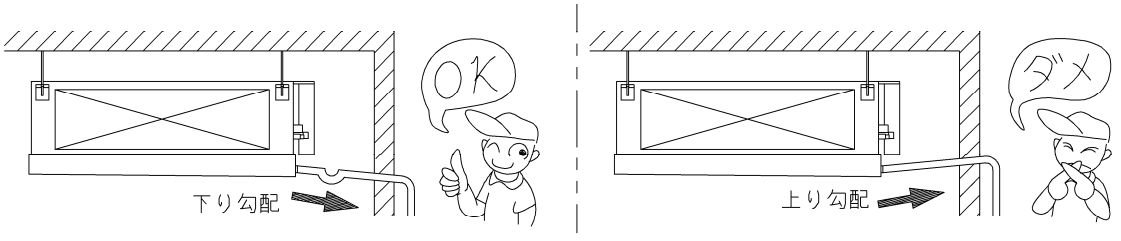
●電気工事および接地工事は“電気設備に関する技術基準”、“内線規定”およびパッケージエアコンの電源仕様に従ってください。

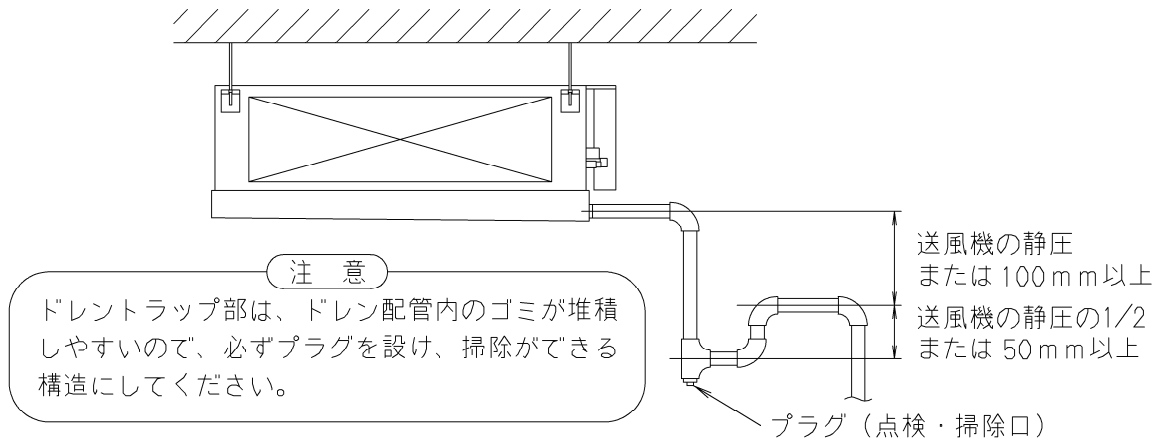
5．ドレン配管のしかた

⚠ 注意

- ドレン配管は必ず先下りの勾配（１／１００以上）をつけて配管してください。
- ドレン配管は機外側にトラップを設けてください。
- 室内部分にあるドレン配管は必ず断熱してください。
- ドレン配管が終わりましたら、ドレンパン（露受皿）に水を入れて流れるかどうか確認してください。水漏れの原因になることがあります。
- 冷媒配管とドレン配管は必ず別々にしてカバーしてください。
  一緒のカバーで巻きますと、ドレン配管が引き上げられ排水できなくなり、ドレンパンより水があふれ、水漏れ事故が発生します。
- ドレン配管はできるだけ塩ビ配管で行ってください。

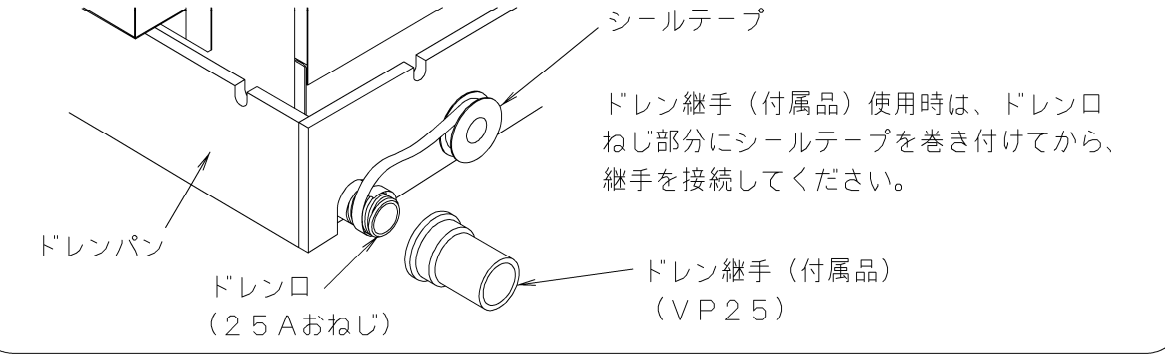
（ドレン口のねじ部分にシールテープを巻き、付属品のドレン継手を使用してください。）





注　意

ドレントラップ部は、ドレン配管内のゴミが堆積しやすいので、必ずプラグを設け、掃除ができる構造にしてください。



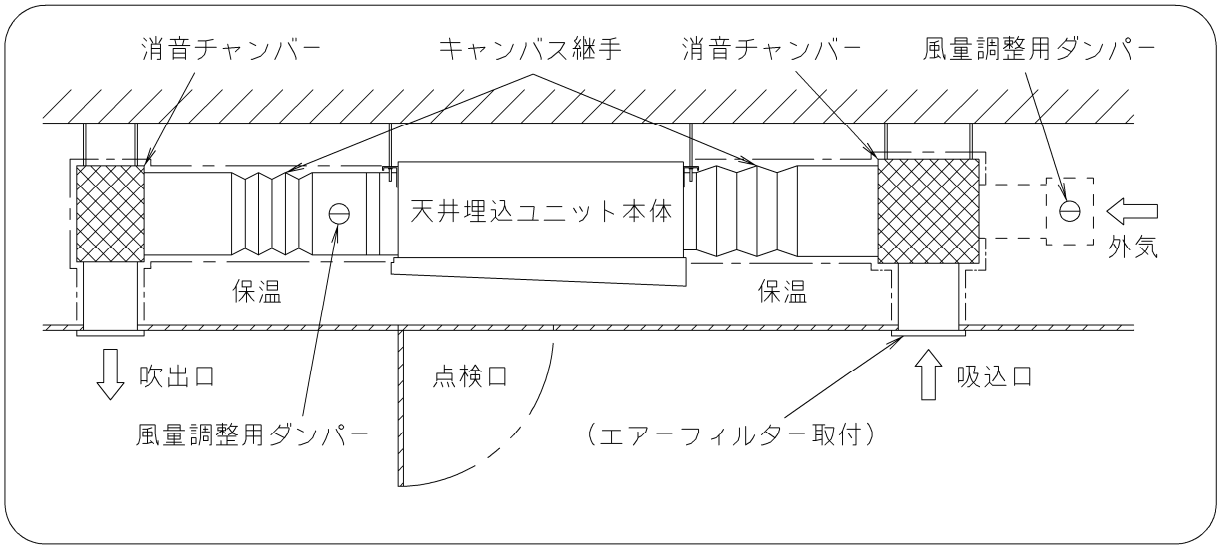
ドレン継手（付属品）使用時は、ドレン口ねじ部分にシールテープを巻き付けてから、継手を接続してください。

6．ダクト工事のしかた

- このユニットは高静圧タイプです。ダクト長さが短く圧力損失が少ない場合、風量・運転音共に大きくなりすぎますので、風量調整用ダンパー（現地調達）を設置してください。
- 事務所・会議室など低騒音が要求される場所では、必ず消音チャンバー（現地調達）等の消音装置を取り付けてください。
- ユニット本体の振動が伝わらないように、キャンバス継手や振動ハンガー（現地調達）を使用してください。

⚠ 注意

- ダクトは不燃性の材料を使用してください。
- ダクトは結露を防止するため、必ず保温を行ってください。
- 吸込口には必ずエアーフィルター（現地調達）を取り付けてください。
（別売のフィルターチャンバーとロングライフフィルター取付時は不要です。）
- ダクト静圧は仕様値範囲内で使用してください。
- ドレンアップキット使用時の吸込側機外静圧は、定格機外静圧の８０％以下で使用してください。



7．リモコン（別売品）の取り付けかた

●別売のリモコンに付属しています説明書を参照してください。